

「別所を巡る！味わう！切符」

國學院大學経済学部根岸ゼミナール（担当教員：根岸毅宏）

代表者氏名：佐々木聡大

発表者氏名：佐々木聡大 太田啓斗 向郷莉奈

参加者氏名：佐々木聡大 太田啓斗 向郷莉奈

梗概

第1章 テーマの分析と狙い

第2章 上田市の現状

第3章 上田市の課題

第4章 提案内容

第5章 期待される効果・費用

まとめ

梗概

「人口減少時代における持続可能なまちづくり」というテーマに基づき、私たちの班が提案するのは、ファミリー層をターゲットとして関係人口を増加させ、上田市を持続可能なまちへとさせる『別所を巡る！味わう！切符』である。

第一に、人口減少時代と言われている今日、上田市を含む日本全体が生産年齢人口の減少や超少子高齢化などの問題を抱えている。そこで、我々は、こうした人口減少問題を、少しでも解消する取り組みを提案したいと考えた。

第二に、持続可能なまちづくりとして次の3つのことを考慮し、観光に注目した。すなわち、地域の魅力あふれる伝統的なものの保全をメインに「文化」を守り育むこと、インバウンド観光客の誘客や滞在、特産物・伝統工芸品などの購買を促進し「経済」を守り育むこと、自然遺産や日本の生態系を保全し環境資源の最適な活用をする「環境」を守り育むことであり、これらに共通する活動が観光であると考えた。この2つのアプローチを踏まえ、上田市の伝統・歴史・温泉・風景・特産品などの豊富な地域資源を最大限に生かすことのできる施策を提案する。さらに、このような提案を踏まえて、上田という地域が現在・未来のファミリー層にとって観光しやすく、住みやすい場所であるというイメージが少しでも定着するように促したい。

この提案を通じて関係人口の増加や一世帯でも多くの移住を促進し、上田市の持続可能な観光およびまちづくりで上田市の様々な地域資源を最大限活用することで、「人口減少時代における持続可能なまちづくり」を行うことができると考えた。将来の展望として持続可能性の最もある地域として親しまれるようにしたいという思いも込めた。

第1章では、今回のテーマについて分析する。第2章では、上田市の現状と課題を分析し、持続可能な観光の位置づけを考える。第3章では、これらの分析を踏まえて、上田市の課題に沿った具体的な観光施策を提案する。

第1章 テーマの分析と狙い

第1節 「人口減少時代における持続可能なまちづくり」

私たちが考えた「人口減少時代における持続可能なまちづくり」とは、持続可能なまちづくりを持続可能な観光により促進させ、ファミリー層が何度も来たくくなるような上田市の魅力の向上をめざすことである。

第一に人口減少時代とは、人口減少社会とも呼ばれているが、少子高齢化による出生率の減少や死亡率増加等が進展し2011年頃をピークに総人口が減少しはじめ、そこから先の時代のことを指している¹。これは、生産年齢人口の減少や超少子高齢社会といった社会問題が大きな影響を与えている。

第二に持続可能性についてである。持続可能性とは、将来にわたって長期的な視点で持続的・永続的に活動を営むことであり、経済・社会・環境といった3つの柱を軸とした開発に取り組むことである²。そこで、3つの要素を満たす活動を考え「持続可能な観光」に焦点を当てる。

持続可能な観光について、UNWTO（国連世界観光機関）は「訪問客・業界・環境及び訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在および将来の経済・社会・環境への影響を十分に考慮する観光」と定義³しており、JNTO（日本政府観光局）は、地域の文化・経済・環境を守りは育むことであると定義⁴している。文化は、地域の魅力あふれる伝統的なものの保全、経済はインバウンド観光客の誘客や滞在、特産物・伝統工芸品などの購買の促進、環境は自然遺産や日本の生態系を保全し、環境資源の最適な活用を指している。

持続可能なまちづくりにも様々な定義付けがあるため、上記のことから持続可能な観光が持続可能なまちづくりを促進させると考えた。これらにより、「人口減少時代における持続可能なまちづくり」を成し遂げるには、出生率や高齢化に影響を与えるファミリー層をターゲットとし、持続可能なまちづくりを促進させる持続可能な観光を考える必要があると結論づけた。その第一歩として、ファミリー層が何度も訪れたいと思えるような観光施策を提案する。そして、この提案により上田市の関係人口を増加させ持続可能なまちへ進化させることがこの提案の狙いである。

¹ 総務省統計局「「平成」は、どのような時代だったか？～人口減少社会「元年」、非正規雇用、女性活躍、デフレ～」<https://www.stat.go.jp/info/today/146.html>

² IDEAS FOR GOOD「サステナビリティとは・意味」<https://ideasforgood.jp/glossary/sustainability/>

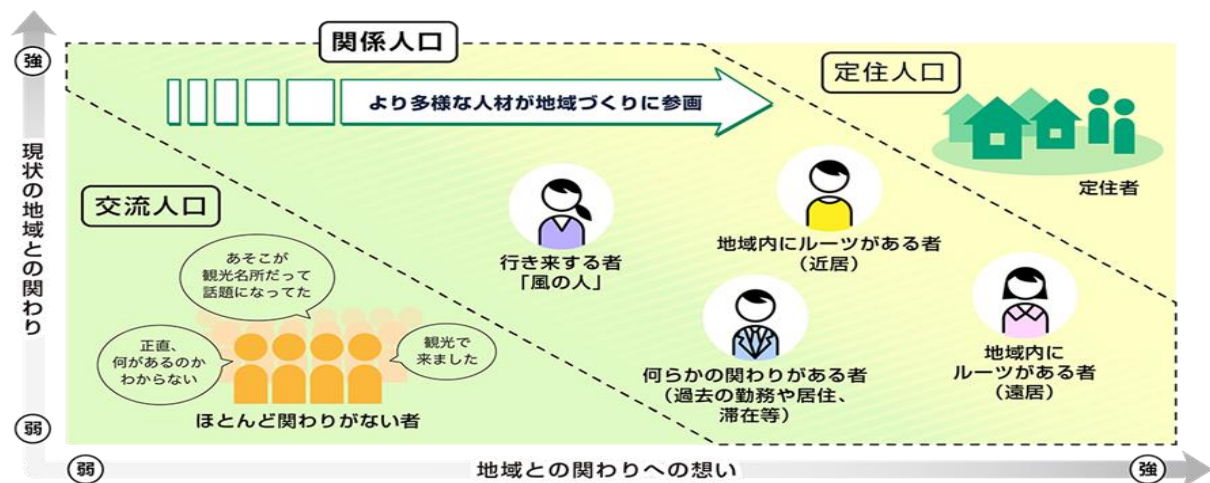
³ 国連世界観光機関（UNWTO）駐在事務所「持続可能な観光の定義」<https://unwto-ap.org/why/tourism-definition/>

⁴ 日本政府観光局（JNTO）「SDGs達成に向けた取り組み」<https://www.jnto.go.jp/about-us/sdgs.html>

第2節 関係人口とは

観光をテーマとしているが観光に関する交流人口と上田市に住みたいと思う定住人口とを繋げる関係人口に焦点を当てる。関係人口とは、上田市という特定の地域に移住している定住人口でも、上田市に魅力などを考えずに観光だけをしに来た交流人口でもなく、地域と多様に関わる人のことを指す⁵。今回は、上田市を1度だけ観光するのではなく何度でも観光したいと思いリピータに繋がる可能性のある人々を関係人口として考えることにした。

図表1 人口関係図



出所 地域への新しい入口関係人口ポータルサイト

第2章 上田市の現状

第1節 上田市の歴史

上田市は平成18年3月に旧上田市、丸子町、真田町が新設合併して誕生した都市である。上田市は歴史上の人物である真田氏が拠点としていた地としても知られている。真田氏が作り上げ上田市の観光スポットとされている上田城は1583年(天正11年)に築かれ、現在は公園として整備されており、年間100万人以上もの観光客が訪れている⁶。また、上田市市内には真田氏の提寺や館跡などのゆかりの地があることから真田ファンが多く訪れ、聖地巡礼を行っている。上田市の過去を遡ると真田昌幸が関ヶ原の戦いで幸村父子と共に江戸幕府2代将軍である徳川秀忠の軍の足止めに成功し、江戸時代に真田信之が領地を継承しとことで上田藩を立藩した。明治の時代には、現在の丸子地区の中心部に製糸会社の

⁵ 関係人口ポータルサイト「関係人口とは？」<https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/about/index.html>

⁶ 信州上田観光協会「うえだトリップなび」<https://ueda-kanko.or.jp/about/>

依田社、翌年に同郡上田町に信陽館が建てられて昭和時代前半にかけて製糸業で賑わっていた。その後1958年に信超放送が美ヶ原にテレビ塔を完成させて、長野県全域で初となるテレビ放送が上田市で行われた。⁷上田市の南西に広がる塩田平には、安楽寺八角三重塔、常楽寺石造多宝塔、前山寺三重塔などの文化財が密集しており、信州の鎌倉と称されるほど多くの寺社仏閣が集まっていることから2020年には日本遺産に登録されている。

第2節 上田市というまちについて

上田市はほぼ日本の中央に位置しており、北には上田市の県庁所在地である長野市がある。東京からの距離は約190kmで北陸新幹線を使用すれば約80分の距離であり、上田市は県内では長野市、松本市に次ぐ県内都市部エリアである。長野県の中では東部に位置して周りは菅平高原や美ヶ原高原などの山々に囲まれている。気候の面では、夏は気温が高く、ほとんど曇り、一方で冬は凍るように寒く、積雪が多いがほとんど晴れというのが特徴的である。晴天率は日本の中で上田市が1番であり、日照時間は1990年から2020年までの年平均で東京都が1926時間であるのに対し、上田市の日照時間は2,219時間であった。上記のことや年間の降水量が約906mmであることから上田市は乾燥地帯に含まれている⁸。

産業の面では上田市の気候を活かして、昔から平坦地では水稻、果樹が、高冷地では野菜が生産されている。観光地としては前述で少し触れた上田城が最も有名である。上田城は1583年に真田昌幸によって築かれた平城で日本百名城 二十七番・日本夜景遺産に認定されている。上田市の菅平高原は真夏でも20度を下回る低温で快適な気候の為、古くから合宿の地としてかなり名が知られている。ラグビー、サッカー、陸上をはじめとする多くの部活、サークル、更には企業の合宿地となっている。また近年では陸上の高地トレーニングの地としても名が広がっており、オリンピック日本代表選手などのトップアスリートが訪れている。次に教育の面に視点を当てると上田市は待機児童数が0人であることが特徴的である。

第3節 上田市の温泉について

上田市は温泉地の数が北海道に次ぐ第2位であるほど、数多くの温泉があり温泉の聖地として知られている。その中でも最も有名な温泉が別所温泉⁹である。詳しくは第2項で触れるが、名前の由来は鎌倉時代に信濃守護職として赴任した北条氏別院という所から別所

⁷ ホームメイト「上田市のタウン情報」<https://www.homemate.co.jp/town/pr-nagano/20203/>

⁸ 上田市「上田市のご紹介」<https://www.city.ueda.nagano.jp/uploaded/attachment/40536.pdf>

⁹ GoNAGANO「別所温泉」https://www.go-nagano.net/topics_detail12/id=2002

温泉と名付けられたと考えられている。別所温泉に次いで有名なのが丸子温泉郷¹⁰である。丸子温泉郷は鹿教湯温泉、大塩温泉、霊泉寺温泉から成り立っている。位置的には美ヶ原高原の東側に位置している。丸子温泉郷の1つである鹿教湯温泉は国民保護温泉地の1つであって、特徴としては無色透明であり、クセが無いという。こちらも別所温泉と同じく弱アルカリ温泉である。「足腰の痛みが取れた」という言葉を頂いているようで、これらことから鹿教湯温泉は「健康の郷」と言われている。次に大塩温泉はラジウムを含んでいて傷病に適応性が高いと言われている。また、「信玄の隠し湯」として武田軍の傷兵が傷を癒したりするなど、歴史との繋がりが深い所も大塩温泉の特徴の1つである。これらの事から大塩温泉は温泉愛好家から定評がある。最後は霊泉寺温泉である。霊泉寺温泉も国民保護温泉地であり、特徴としては周りにコンビニなどが何もない所にある4軒の小さな温泉場で、全身が「スベスベ」になるなど肌の変化を感じる効果がある。美肌の温泉として知られている。これら3つの温泉から丸子温泉郷が成り立っている。そして別所温泉と共に上田市の温泉業界を支えている。

別所温泉は塩田平の西側に位置し、古くは「七久里の湯」と呼ばれる信州最古の温泉である。別所温泉は上田駅から上田電鉄を使って約30分で行くことができ、東京駅から公共交通機関を使って2時間、車で3時間と利便性が非常に高い¹¹。また別所温泉駅にはレンタルサイクルがあり、温泉街のスムーズな移動も可能である。別所温泉の温泉は弱アルカリ性で皮脂を溶かし、古い角質を軟化させることで美肌効果が期待できる魅力的な温泉であり、泉温が51度と源泉のまま入れることができる。別所温泉の歴史は非常に長く、日本で最も古い臨濟禅宗寺院の一つである安楽寺や木造の八角塔としては全国で一つしかなく、文化財保護法の規定により長野県では一番早く国宝に指定された国宝八角三重塔など数多くの神社仏閣などがある。

別所温泉を活性化させる取り組みとして様々なことを行っている。まずは別所温泉旅館組合が別所温泉周辺で頻繁に開催している季節に合わせたイベントである¹²。春だったらお花見イベント、夏なら盆踊りやお祭り、秋冬にはフォトイベントや消しゴム版画作成など様々なイベントを通して別所温泉の魅力を体感してもらい別所温泉の活性化に貢献している。また、他には「信州上田 別所温泉街のMIRAI存続プロジェクト」というのを2020年5月28日から同年6月27日までの1カ月間で行っており、観光客の減少や新型コロナウイルス、台風などの課題に対し、クラウドファンディングで支援金500万円を募集してい

¹⁰ 温泉名人「丸子温泉郷－鹿教湯・大塩・霊泉寺－概要」<https://www.spa.or.jp/kokumin/979/>

¹¹ 別所温泉観光協会公式ホームページ「別所温泉へのアクセス」<https://www.bessho-spa.jp/acc.html>

¹² 別所温泉旅館組合「イベント情報」<https://www.besshoonsen.com/blog/news/%e3%82%a4%e3%83%99%e3%83%b3%e3%83%88%e6%83%85%e5%a0%b1>

た¹³。結果として500万円を超える600万円が募り、温泉街の支援ができただけでなく、支援者にも別所温泉の素晴らしさを知ってもらう良い企画となった。

第4節 上田市の特産物

大自然の中で育まれた上田市の特産物は数多く存在している。上田市の特産物1つ目は松茸である。上田市は日本有数の松茸聖地であって、秋ごろになると塩田平を中心に松茸専門店の「松茸小屋」がオープンするほどである。2つ目はブドウである。上田市は甘くて美味しいぶどうの産地で、市の農業産出額で4位になっている。近年はナガノパープルやゴルビーなどの多くの品種が栽培されている。最後に紹介するのは上田市の特産物である地酒である。上田市は透き通るようなきれいな水、豊かに実る、美しい空気に恵まれていて酒造りの名所として有名であり、市内には6つも酒蔵があって日々地域の魅力が詰まった地酒が造られている。

第5節 上田市の観光について

上田市の観光について考える前に長野県全体の観光について触れていく。長野県の観光客数は2020年度で51476人、2021年度で52666人、2023年度で75447人と年々増加してきている。またそれに比例して観光地消費額も増加し、2020年度から2022年度までに約1000億円増加している¹⁴。2022年度では日帰りと宿泊の消費量は同じくらいであり、利用者が多い場所としては「高原・湖沼」が約44.7%と最も多く、その次に「名所・旧跡」で35.5%、そして「温泉」が16.3%である。

長野県の中でも上田市の観光名所は様々ある。2022年度の長野県の主要観光地上位50では「上田城跡」が10位、「美ヶ原高原」が13位、菅平高原が19位、別所温泉が36位となっている。上田城跡は築城から400年以上たつ歴史ある上田市の名城であり、周辺には上田城下町や北国街道などの非常に趣ある街並みを体験することが出来る。また春や秋には上田城周辺でイベントなども行っており、上田市も力を入れている観光名所である¹⁵。美ヶ原高原は富士山や八ヶ岳、北アルプスなどの大自然に囲まれており、約13万平方キロメートルの敷地に様々な野外彫刻を展示している美ヶ原高美術館もある。菅平高原では夏は冷涼な気候でありスポーツの合宿先として利用され、冬になるとリゾート地として利用される。別所温泉は第3章で触れたとおり外湯、内湯の両方があり、周辺一帯は塩田平

¹³ CAMPFIRE 「台風&コロナで大打撃！】信州上田・別所温泉街のMIRAI存続プロジェクト」（2020）<https://camp-fire.jp/projects/view/272454>

¹⁴ 長野県「令和4年度観光地利用者統計結果」（2022）<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/toukei/documents/r4kankoutiriyoushateisei.pdf>

¹⁵ 上田市ホームページ「信州上田観光情報」 <https://www.city.ueda.nagano.jp/site/kankojoho/5837.html>

と呼ばれる文化財の宝庫となっており、神社仏閣が多いことから「信州の鎌倉」と呼ばれている。

上田市の観光客数は2022年度で58万人であり2021年度と比較しても18万人増加した。また利用者数の特性として県内からの利用が53.4%、県外からの利用が46.6%と約半分以上の利用となっており、日帰りが76.9%、宿泊が23.1%と日帰りでの利用が多い¹⁶。現在上田市が観光への取組として様々な取組を行っている。まずは信州上田観光情報というサイトを運営し、地域の魅力について発信している。上田城跡公園や別所温泉など上田市の観光地について説明し、その場所でのイベントについての発信を行っている。それ以外にも上田市の友好都市として練馬区と連携し、「上田推し キャンペーン2023in練馬」¹⁷というキャンペーンを期間限定で行っている。具体的な内容としては、上田市の日本酒やワイン、ビールなどの地酒を試飲、販売するイベントや竹提灯、針金細工ワークショップなど上田市の特産物や魅力を実際に体験してもらうイベントも行っている。

第3章 上田市の課題

上田市の現状として歴史があり、特産物や神社仏閣、温泉など様々な魅力的な要素が豊富である。それにも関わらず長野県全体の主要観光地では第10位に上田城跡があるが、別所温泉などの魅力的な観光地が36位となっており、上田市の魅力が世の中に知れ渡っていないことが伺える。そのため、私達の提案を通してより多くの方に上田市の魅力を体験してもらい、上田市の関係人口の増加に貢献させたいと考えている。

第4章 提案内容

本提案は、上田市の歴史や温泉を巡り、魅力あふれる食べ物を味わって関係人口を増やすことを主軸にした『別所を巡る！味わう！切符』である。

第1節 提案内容のポイント

今回の提案内容には2つポイントがある。第一は体験である。家族をターゲットにしていることから、歴史的建造物を見て歩くだけでなく体験型して印象に残すことを考えた。

¹⁶ 長野県「令和4年度観光地利用者統計結果」（2022）<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/toukei/documents/r4kankoutiriyoushateisei.pdf>

¹⁷ 信州上田観光協会「上田推し キャンペーン2023in練馬」 https://ueda-kanko.or.jp/special/uedafan_nerima2023/

第二に、付加価値をつけることである。この切符でしかできない特別な体験を盛り込むことで需要を生み出すことができると考える。

第2節 体験型観光にした理由

体験型観光とはその土地の文化や自然を肌で感じ、体験に重心をおく観光スタイルのことであり、従来のその土地の特産品を食べる・見るということをするだけではなく、その土地の様々なものを作り出す体験をすること目的とした観光のことである¹⁸。普段とは違う「非日常」ではなく、普段の生活とは異なり、その土地の魅力を味わう「異日常」を楽しむことが最大の魅力とされている¹⁹。また、地方移住に関する調査結果の図表2によると、移住経験のある人で最も多いタイプが、故郷とは別の地域に移住するIターン型の移住である。Iターン型移住とは、「生まれ育った故郷から進学や就職を期に故郷にはない要素を求めて、故郷とは別の地域に移住すること」と定義されている²⁰。このことから、普段とは違うことを食べる・見るだけではなく、実際に体験し感じてもらうことが関係人口などを増やすきっかけになる。

図表2 移住経験者が経験した移住タイプ



出所 観光経済新聞

第3節 提案のターゲット

20代～50代のファミリー層をターゲットに設定した。理由は2つある。1つ目は、上田市に移住してくる人たちは単身である人よりも圧倒的に家族である人が多いからである。夫婦のみの世帯と夫婦と子供のいる世帯を合わせるとおよそ全体の3分の2を占める。

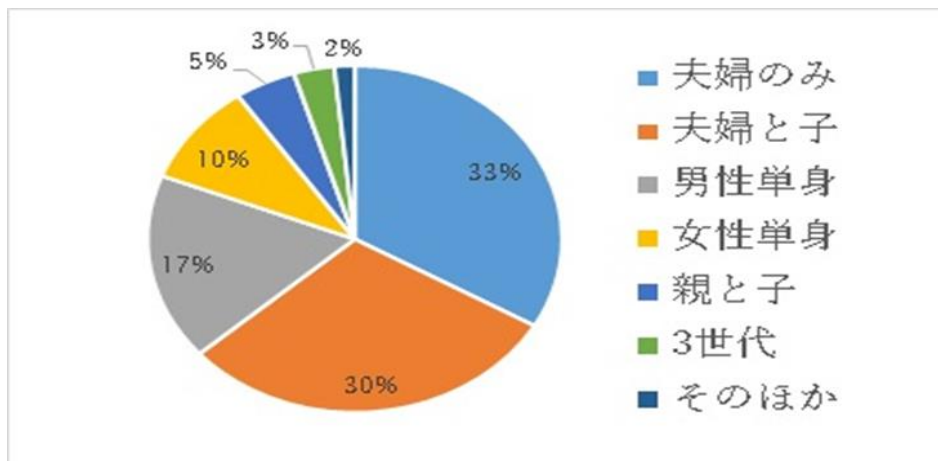
¹⁸ ピタマチ「体験型観光は地方移住希望者にぴったり！おすすめの理由や具体例は？」
<https://pitamachi.com/municipality/topics/536>

¹⁹ インバウンドプロ「滞在型観光と体験型観光とは？観光客が求めるご当地体験で地方活性化」
<https://inbound-pro.com/article/9439/>

²⁰ 観光経済新聞「【データ】地方移住に関する調査結果」
<https://www.kankokeizai.com/%e3%80%90e3%83%87e3%83%bc%e3%82%bf%e3%80%91e5%9c%b0e6%96%b9e7%a7%bb%e4%bd%8f%e3%81%ab%e9%96%a2e3%81%99e3%82%8be8%aa%bf%e6%9f%bb%e7%b5%90e6%9e%9ce3%80%80/>

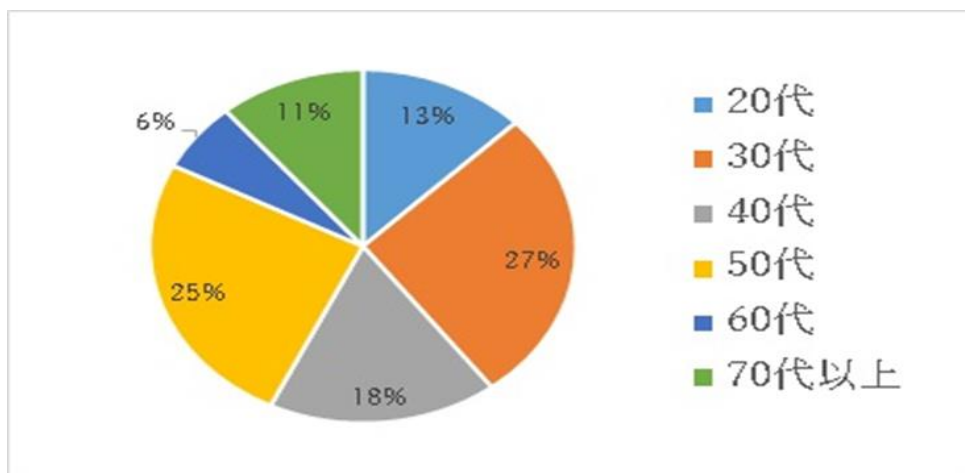
(図表3参照) 2つ目は、移住時の世代は子育て世代が半分以上である。下記のグラフより、20代~40代の世帯は58%を占めている。(図表4参照)

図表3 移住先の家族構成



出所 上田市ホームページ 第一回上田市移住者アンケート結果

図表4 移住時の年齢



出所 上田市ホームページ 第一回上田市移住者アンケート結果

第4節 乗り放題について

今回提案する『別所を巡る！味わう！切符』は、乗り放題+体験+温泉+観光をすることができる。別所線全線(行き券と帰り券)と上田バス 信州上田レイライン線が乗り放題となる。信州上田レイライン線は、下之郷駅から塩田平、別所温泉を結ぶシャトルバスである。

第5節 モデルコースについて

この切符と合わせて上田の魅力を体感できるモデルコースを考えた。

図表5 モデルコースの1日プランと1泊2日プラン

(1日プラン)	(1泊2日プラン)
<p>スタート 別所線上田駅</p> <p>別所線 下之郷駅下車</p> <p>上田バス信州上田レイラン線 前山寺下車</p> <p>藤本 塩田店にて上田紬の体験</p> <p>前山寺を仏閣</p> <p>上田バス信州上田レイラン線で別所温泉まで</p> <p>別所温泉旅館組合の旅館・足湯などにて地酒を楽しみながらお風呂につかる</p> <p>別所神社など仏閣</p> <p>別所線で風景を楽しみながら上田駅へ</p>	<p>●1日目</p> <p>スタート 別所線上田駅</p> <p>別所線 下之郷駅下車</p> <p>上田バス信州上田レイラン線 前山寺下車</p> <p>藤本 塩田店にて上田紬の体験</p> <p>前山寺を仏閣</p> <p>上田バス信州上田レイラン線で別所温泉まで</p> <p>別所温泉旅館組合の旅館・足湯などにて地酒を楽しみながらお風呂につかる</p> <p>別所温泉旅館組合の旅館で1泊する</p> <p>●2日目</p> <p>別所温泉の3つの外湯を楽しむ</p> <p>別所神社など神社仏閣</p> <p>上田バス信州上田レイラン線で中禅寺に行き仏閣</p> <p>上田バス信州上田レイラン線で別所線下之郷駅へ</p> <p>別所線で上田駅へ</p>

出所 自分たち班で作成

1日だけ使える1day切符と2日間利用できる2day切符を考えた。どちらも、上田の特産物を体験したりすること、神社などの上田の文化や歴史に触れること、上田の風景を楽しむこと、温泉巡りをすることなどさまざまな魅力を盛り込んだプランになっている。この切符を購入した人のみが地酒をもらうことができ、その地酒を持ち帰ること・温泉で飲むことができる。

第6節 温泉について

温泉は主に別所温泉を対象とする。別所温泉は古くは「七久里の湯」と呼ばれ平安時代の和歌集にもその名をとどめている信州最古の温泉である²¹。旅館の内湯の他に3つの外湯、日帰り温泉施設がある。また、周辺一帯は「塩田平」と呼ばれ、全国でも数少ない文化財の宝庫となっている。鎌倉時代から室町時代にかけて造られた神社仏閣をはじめ、石造りなどの中世の文化財が多数残されていることから、「信州の鎌倉」と呼ばれ親しまれている。

この券の利用者限定特典として、湯につかりながら地酒を楽しむ事が出来る。上田市には日本酒を出している蔵が6つあり、地域の魅力がたくさん詰まった日本酒がつくられている²²。温泉につかりながら地酒を楽しめるという特別感を味わってみたい。

第7節 体験について

体験は主に2つ考えている。

1つ目は日本三大紬の1つである上田紬を編めるプランである²³。小岩井紬工房²⁴と藤本つむぎ工房²⁵での体験実施を考えている。花瓶敷機織り体験などができる。

2つ目は、信州上田の特産品であるそば打ち体験ができるプランである。上田市周辺にはそば畑が多くあり、そば粉も生産されている。市内各所には手打ちそばの人気店が多数ある²⁶。

この2つの体験を両方行うことができる。なお、事前予約が必要である。

第5章 期待される効果・費用

第1節 取り組む意味

この提案を上田市が取り入れるべき理由は、環境的特徴にある。上田市は首都圏に住んでいる人に人気の静岡県熱海や神奈川県箱根に比べると東京から新幹線で1時間半と少し距離がある。だからこそ、この券を利用することで近場の温泉とはまた違った小旅行を味わうことができる。

²¹ 信州上田観光情報 <https://www.city.ueda.nagano.jp/site/kankojoho/5513.html>

²² うえだトリップナビ <https://ueda-kanko.or.jp/blog/japanesesake/>

²³ 上田紬 <http://ueda-tsumugi.com/>

²⁴ 工房ご案内 <http://www13.ueda.ne.jp/~koiwai-tsumugi/kobo555.html>

²⁵ 信州着物上田紬藤本 <http://ueda-fujimoto.jp/about>

²⁶ 信州上田日本遺産商品・グルメ紹介サイト <https://uedanihonisangoods.com/gourmet/>

図表6 販売価格の決定理由

体験の費用	
上田紬の体験の費用	3000円 ²⁷ （上田紬藤本塩田店を参考）
そば打ち体験の費用	1000円 ²⁸ （雲溪荘 そば打ち体験を参考）
交通費	
1日プランの交通費	1370円 ²⁹ ³⁰ （信州上田レイラン線 上田電鉄 料金表を参考）
1泊2日プランの交通費	1560円 ³¹ ³² （信州上田レイラン線 上田電鉄 料金表を参考）
各プランの費用合計	
1日プラン	5370円
1泊2日プラン	5560円
販売価格	
販売価格	
1日プラン	5000円
1泊2日プラン	5000円

出所 自分たち班で費用を考え作成

第2節 提案の費用と販売価格

販売価格の決定理由については、図表5で示している。ここでは、販売価格について簡潔に説明する。1泊2日プランと1日プランで販売価格を5000円とした。1日プランと1泊2日プランの費用はそれぞれ5300円、5600円であり、料金を約1割下げ5000円で販売することとした。その理由は、1日プランと1泊2日プランの料金をあえて同じにすることにより、日帰りではなく連泊の方を選択させるように促すためである。

第3節 提案のメリット

メリットとして挙げられるのは、関係人口が増えることである。関係人口が増えることにより地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待できる。これからの人口減少時代に定住人口を増やすことは容易ではない。だからこそ、この取り組みを行うことで上

²⁷ 上田紬藤本塩田店 <https://fujimoto-siodaten.com/experience.php>

²⁸ 信州上田市武石 <http://www.unkeiso.com/soba/>

²⁹ 上田バスオンライン https://www.uedabus.co.jp/teiki_kankou/shuttle_bus.html

³⁰ 上田電鉄株式会社別所線 <https://www.uedadentetsu.com/fare/>

³¹ 上田バスオンライン https://www.uedabus.co.jp/teiki_kankou/shuttle_bus.html

³² 上田電鉄株式会社別所線 <https://www.uedadentetsu.com/fare/>

田市のファンを増やし関係人口を増やすことが重要である。それに加え、交流人口が増えることで歴史的建造物の維持にもつながる。

まとめ

今回私たちは上田市の関係人口の増加について考えてきたが、その中でも主に家族連れの観光客を増やし何度も訪れてもらうことを主軸に提案した。この課題を通して、上田市にはまだ知らない魅力がたくさんあることに気が付いた。課題に取り組み始めた時に感じたことは「上田市にはこんなものがあるのか、なにも知らなかった」ということである。この時、課題への難しさを感じたと同時に、今上田市と出会っていない人はこのように思っているのであると気づくことができた。

私たちはこの提案をする上で、今後はより多くの人に上田市に興味をもってもらうこと、そして上田市の関係人口、定住人口が増えることを願っている。上田市の魅力に直接触れることで、上田市へ何度も訪れたいようになるように心をつかみ、関係人口だけではなく、その先にある定住人口へとつながり、人口減少の解消と持続可能なまちづくりが成されていくと想定している。

参考文献

- ・ 上田市「上田市のご紹介」 (<https://www.city.ueda.nagano.jp/uploaded/attachment/40536.pdf>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 上田市ホームページ「信州上田観光情報」 (<https://www.city.ueda.nagano.jp/site/kankojoho/5837.html>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 上田市ホームページ「第一回上田市移住者アンケート結果」 (<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/iju/1142.html>)
- ・ 上田市武石「そば打ち」 (<http://www.unkeiso.com/soba/>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 上田城の年間客数(資料1)上田市(2023)「上田市ってどんなところ？」 (<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kanko/5606.html>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 上田紬「上田紬とは」 (<http://ueda-tsumugi.com/>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 上田紬藤本塩田店 機織り体験・喫茶店 (<https://fujimoto-siodaten.com/experience.php>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 上田電鉄鉄道会社「各種乗車券運賃」 (<https://www.uedadentetsu.com/fare/>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 上田バスオンライン「信州上田レイライン線のご案内」 (https://www.uedabus.co.jp/teki_kankou/shuttle_bus.html) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 温泉名人「丸子温泉郷 一鹿教湯・大塩・霊泉寺ー概要」 (<https://www.spa.or.jp/kokumin/979/>) 【2023年10月11日閲覧】
- ・ 国連世界観光機関 (UNWTO) 駐在事務所「持続可能な観光の定義」 (<https://unwto-ap.org/why/tourism-definition/>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 信州上田観光協会「うえだトリップなび」 (<https://ueda-kanko.or.jp/about/>) 【2023年10月10日閲覧】
- ・ 信州上田観光協会(2022)「【保存版】心も体も癒される上田の日帰り温泉」 (<https://ueda-kanko.or.jp/blog/onsen/>) 【2023年10月11日閲覧】
- ・ 信州上田観光協会「上田推し キャンペーン2023in練馬」 (https://ueda-kanko.or.jp/special/uedafan_nerima2023/) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 信州着物上田紬藤本 (<http://ueda-fujimoto.jp/about>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 信州上田日本遺産「「太陽と大地の聖地」信州上田のグルメ・特産品」 (<https://uedanihonisangoods.com/gourmet/>) 【2023年10月11日閲覧】
- ・ 信州上田日本遺産商品・グルメ紹介サイト (<https://uedanihonisangoods.com/gourmet/>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ 手織り上田公房ご案内 <http://www13.ueda.ne.jp/~koiwai-tsumugi/kobo555.html> 【2023年10月20日閲覧】

- ・長野県「令和4年度観光地利用者統計結果」（2022）（<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/toukei/documents/r4kankoutiriyoushateisei.pdf>）【2023年 10月20日閲覧】
- ・フォレストコーポレーション(2022)「移住で人気の上田市の特徴や魅力、メリット・デメリットを紹介」(https://www.kobo-shinshu.com/co_diary6/fdbf085e2201bac4f5cc91fd4d32f480.html) 【2023年10月11日閲覧】
- ・別所温泉観光協会公式ホームページ「別所温泉へのアクセス」(<https://www.bessho-spa.jp/acc.htm>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・別所温泉旅館組合「イベント情報」(<https://www.besshoonsen.com/blog/news/%e3%82%a4%e3%83%99%e3%83%b3%e3%83%88%e6%83%85%e5%a0%b1>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・ホームメイト「上田市のタウン情報」(<https://www.homemate.co.jp/town/pr-nagano/20203/>) 【2023年10月10日閲覧】
- ・リサーチ・リサーチ(2017)「全国のお城の入城者数（入場者数・観光客数）調査レポート【2017年版】」(<https://www.lisalisa50.com/research20170704.html>) 【2023年10月10日閲覧】
- ・霊泉寺温泉旅館組合「温泉の由来と特徴」(<https://www.reisenjionsen.com/>) 【2023年10月11日閲覧】
- ・CAMPFIRE 「台風&コロナで大打撃！】信州上田・別所温泉街のMIRAI存続プロジェクト」（2020）(<https://camp-fire.jp/projects/view/272454>) 【2023年10月20日閲覧】
- ・GoNAGANO 「別所温泉」(https://www.go-nagano.net/topics_detail12/id=20026) 【2023年10月11日閲覧】